



平成最後の年が明けました！



明けましておめでとうございます。平成最後の年の幕開けです。本日から4学期が始まりました。ニュージーランドの夏は湿気が少なく、快適な気候で過ごしやすいです。ただ、朝は肌寒くても、午後の日差しは強烈で夕方頃が一番気温が高い気がします。これが一日の中に四季があるという所以だと思います。

始業式では「干支」の話をしました。今年の干支は「いのしし！」「自分の干支を知っていますか？ 知らない人はお家の人から聞いて下さいね。」と伝えました。これを機会に日本の文化の一端についてご家庭でも話されることを期待しています。特に今年は、日本にとっては大変歴史的な一年になります。天皇陛下のことや年号についても補習校で機会を見つけて話していこうと考えています。

中学部3年生の卒業キャンプが1月22日(火)から1泊2日の日程でスプリングフィールドにある「スマイリーズ アコモデーション」で行われました。キャッスルヒルズ散策、カヤック実習、サイクリングと盛りだくさんの内容でした。ソーセージシズルをしたり、随分前から、この日のために気持ちを盛り上げてきたようで、出発する前からテンションは最高潮でした。カヤックやサイクリングはもちろんですが、





カレー作りや、スイカ割り、一緒に食事をしたり、夜、消灯後にコソコソ話をしたり、そんな些細なことが大変貴重な思い出になったように思われます。中学3年生は補習校にとっての最上級学年です。不思議なもので、個々人がそれを意識しているかどうかはわかりませんが、全体的に醸し出す雰囲気は補習校を卒業していこうとする生徒の集大成

の姿を表しているように感じました。

小学部6年生の社会見学は、1月24日(木)にチャンピオン製粉工事見学とクエル・アイランド散策に行ってきました。チャンピオン製粉は、ニュージーランド国内における小麦生産の半分を担っている会社です。大きなタンクに貯蔵された小麦が小麦粉になる過程を見学させて頂きました。ほとんど機械によるオートメーション化がされており、人間の口に入る物だけに安心安全が徹底されていることを勉強してきました。おやつにマフィンを頂き、思わずニッコリでした。



リトルトン湾に浮かぶクエル・アイランドで島内1周2時間ほどの散策を楽しみました。6年生の友達との関係やまとめ、集団行動の様子等も伺いしれました。補習校では、なかなか見られない子ども達の姿を見ることが出来ました。小学部卒業に向けての楽しい思い出づくりが出来たように思います。

卒業キャンプも、社会見学も、素晴らしい天気にも恵まれました。日本風の言い方をすれば、「日頃の行いが良かった！」のだらうと思います。この調子で、全校児童生徒、残りの4学期を突っ走りたいと思っています。保護者の皆様のご支援ご協力をお願いいたします。